

|     |        |                |
|-----|--------|----------------|
| ・委員 | 浦田 太   | 吹田市立千里丘中学校 校長  |
|     | 城下 英行  | 関西大学社会安全学部准教授  |
|     | 柏渕 眞理子 | 東山田青少年対策委員会委員長 |
|     | 藤浦 雅彦  | 吹田東高等学校 後援会会長  |
| 校 長 | 佐々木 啓  | 吹田東高等学校 校長     |
| 事務局 | 井川 紀代子 | 吹田東高等学校 教頭     |
|     | 芝野 雅人  | 吹田東高等学校 事務長    |
|     | 村上 明弘  | 吹田東高等学校 首席     |

## ◆開会挨拶

「大阪府立吹田東高等学校 校長 佐々木 啓」

## ◆議 事

### ○報告事項

(1) 授業アンケートについて 《資料1》

#### 【結果報告】

(佐々木校長より資料説明)

- ・第2回の授業アンケートの結果を平均した値を加え、平成27年度から5年分の表にして提示した。
- ・本年度1回目から2回目にかけて数値が下がっているが、過去5年間で上昇し、本年は最も良い数値となった。ほぼすべての項目で前年度までを上回っている。
- ・生徒の取組みの項目1、2についてはずっと数値が上昇していることから、ここ数年の吹田東高校の取り組みが中学生にも伝わり、真面目に取り組む生徒が入学しているかもしれない。
- ・生徒を伸ばしていく上で項目8、9が最も重要だと思う。生徒が興味関心を抱き、知識技能を身に付けることが、授業を通しての成長の核だと考えている。この項目の数値が上がっているということはその意味でも、教員はよく頑張っていると思う。
- ・ただし、本年度も1回目から2回目にかけてほぼすべての項目で下がっているため、授業改善の難しさを感じている。
- ・全体の数値としては、かなり高いと感じており、現状の高い部分は維持しつつ、低い部分を注視して取り組んでいきたい。
- ・唯一低い項目7「授業分析」について、少し伸びてきたのは、生徒にこうなって欲しいという教員の思いが生徒に浸透してきたのではと思われる。そのほかの項目が上昇していることから、時間をかけて理解させていけばよいと考える。

Q.委員 アンケートを取る時期はいつか。

A. 1回目が7月、2回目は12月で、どちらも終業式で取る。

Q.委員 平成29年は2回目の方が上がっているが、何か違いがあったのか。

A. 特に違いは感じられなかった。

委員 中学校はほとんどの学校が1回しか実施していない。質問項目は4つ。

A. 生徒の授業の取組の意識は高いが、家庭での予習復習の時間は少ない。

委員 項目によっては平均だけでなくバラつきや標準偏差を取ると他に見えてくるものがあるかも。

A. 教員は生徒の興味や関心を引き出すために教材を工夫されている。

Q.委員 質問項目7に「生徒の意見や要望を取り入れ」とあるがそれを集約する場はあるのか。

A. 授業アンケートに記述があり、各教員に書かれたものは返している。  
 ただ、改善できるものとできないものがあるので数値が高くないのかも。  
 委員 生徒にそのような説明があればこの項目の数値がもう少し上がるのでは。

## (2) 学校教育自己診断について 《資料2》

### 【結果報告】

(村上首席より)

- ・今年度は昨年と少し質問を変更した。また、表現も少し変えたところがある。
- ・昨年までは生徒、保護者共に肯定的回答の値を表示していたが、保護者の回答には「わからない」という項目もあるので、今年度は全ての値を表示している。
- ・全体的に昨年よりほとんどの項目において肯定的回答の値は上回っている。
- ・「吹田東に進学して(させて)よかった」の肯定的回答は生徒の方は昨年62%に対し、今年度は76%に、保護者は昨年に引き続き8割を超え、今年度は85%になっている。
- ・「Webページを見るか」の肯定的回答は、保護者・生徒共に非常に低い。情報提供を携帯メールで行っているが、そちらの保護者の肯定的回答は非常に高かった。今後はWebページでの情報提供も有効的に活用できるように工夫していきたい。部活動の情報は現在更新中。
- ・新校舎になり、施設についての満足度は昨年より高く、特に保護者では昨年48%から約85%になっている。
- ・回収率は生徒が全員で保護者は約96%。

Q.委員 教職員のアンケートにおいて1.10.17の数値が下がっている。生徒の授業アンケート結果ではそれに関わっているところの数値は上がっているが、どのようなことが原因と考えられるか。

A. 今年度は夏に引越し業務が加わったことや、また部活動などで授業準備の時間が十分とれなかったという報告も聞いている。

委員 保護者の数値はどの学年もあまり変化はない。

委員 アンケートの回収率が生徒、保護者共に高く、結果については信頼性が高い。

また、その中で保護者の「吹田東高校に進学させてよかった」の肯定的回答が85%を超えている。

A. 生徒は76%と少し低いのは、自由な校風を望んでいる生徒にとって生徒指導が厳しいところが影響していると思われ、保護者はきっちり指導して欲しいと望んでいる方は多いと思われる

委員 挨拶をきっちりする生徒もいるが、不審者対策の面からもいいことだと思う。

## (3) 平成31年度学校経営計画の達成状況について 《資料3》

(校長より資料説明)

- ・シラバスについて、一定改善されたが目標には若干至らなかった。
- ・現在、教科ごとのカリキュラムが出そろい、まとめたところ。現在検討中。
- ・授業見学については、実施率は向上した。
- ・進路ガイダンスは、生徒向け・保護者向けともに充実している。
- ・授業以外の学習時間が1年生以外で減少しているため、自学自習を考えていく必要がある。
- ・図書室は、中が見やすくなったこともあり、授業でも活用している場面をより見るようになった。
- ・自習室については、少人数学習スペースの活用や、図書室が利用しやすくなったことから、活用している生徒については横ばいだった。
- ・遅刻については、新校舎になり階段を上る必要が生じたが減少。1年生の遠足で遅刻が多かったが、少ない数値を保っている。
- ・俳句については、学年での実施ができ、次年度にも継続できそうである。
- ・語学研修については、海外と校内ともに充実した形を保てた。

- ・新校舎になり、清掃場所が増えたが、綺麗さは保っている。
- ・生徒のクラス活動参加については新校舎での文化祭のこともあり、いい数値がでた。
- ・引越し業務があり、超過勤務を減らせなかった。

## ○協議事項

### (1) 令和2年度学校経営計画について 《資料4》

(校長より資料説明)

- ・「めざす学校像」と「中期的目標」はこの協議会で承認が必要。
- ・「めざす学校像」は本年度と同じと考えている。
- ・「中期的目標」は新校舎完成に伴い変更した。  
生徒が疑問を持って解決に向かってほしいと思っており、それを追加。
- ・シラバスの活用は大切だが、生徒が自ら学ぶ姿勢はより大切と考えた。
- ・授業満足度が目標に達したので、さらなる目標を設定。
- ・生徒の多様な進路をかなえることが大切と考え、進路実現で考えることとした。
- ・青葉丘セミナーについて、「自学自習の助けとする」を入れた。
- ・大学入試改革の変更に合わせてGTECを廃止し、英検受検を進めることとした。
- ・「クラスの活動に積極的に関わっている」の数値が目標を達したので、さらなる目標を設定。
- ・新入生アンケートについて、本校の指導でできないことなので、本校生徒に対する働きかけをすることに考えた。

Q.委員 引越しを終えて残業時間は減っているのか。

A. 引越し前後は増えているが、それ以外は昨年より減っている。

Q.委員 新校舎の設備的に仕事が効率良くなっているか。

A. プロジェクターが備え付けの教室が増えた。

また、グラウンドが使用できるようになり部活動で郊外へ出て行かなくてよくなった。

【令和2年度学校経営計画及び学校評価の「めざす学校像」「中期的目標」について承認された。】

## ◆閉会挨拶

佐々木校長より